

- 少人数での授業方法の工夫と改善
- タブレットの活用, リモート学習の推進

学力向上推進員 委員:
研修主任:

校長

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等, 様々な機会を捉え, 取組状況の把握を行う。

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み, 学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○真面目で素直な生徒が多い。落ち着いた態度で授業に取り組んでいる。 ●長い文章を正確に読み取ったり, 身に付けた知識等を関連付けたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け, 自主的・自律的に学習に取り組むことができる。 ・学習の過程を通して習得した知識が, 既習の知識と関連付けられ, 他の学習の場面で活用することができる。	・内容の重点箇所を捉えさせるため, 教科書等の文章にアンダーラインを入れさせる。 ・朝学習で学習支援アプリケーションを利用し, 基礎的・基本的知識の定着を図る。 ・単元の導入や発問を工夫し, 生徒が興味をもって取り組むことができるようにする。		・問題文の重要部分を意識させて取り組ませることができた。 ・学習支援アプリケーションの中から自主的に課題を選択し, 基礎・基本の定着や弱点強化を図ることができた。 ・生徒の興味関心や身近な生活の中から題材を提示することができた。	・学習支援アプリケーションを活用した授業を展開する。 ・学習内容が日常生活とつながるように発問したり, 考えさせたりできる授業を継続する。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の調べたことをもとに整理して発表したり, 自分の意見を相手の立場に立って伝えることができる。 ●課題に応じて, 必要な情報等を取り入れ自分の考えを深め, 新しい考えを創造することに課題がある。	・課題に対して, さまざまな情報や他者の意見を取り入れ, 自分の考えを深めたり相手に伝えたりすることができる。 ・自分の考えを述べるときには, 判断の根拠や理由を示しながら伝えることができる。	・リモートでの学習等で他校との連携を図り, 多様な意見を取り入れ, 考えを深めさせる。 ・生徒の発言や発表の内容に応じ, 「なぜ」「どうして」などの発問を行い, 生徒の考えを深めさせる。		・リモート交流で, 意欲的に自分の意見を述べたり, 相手の意見を尊重することができるようになった。 ・課題に対して根拠をもとに考えて説明したり, 相手に伝えようとしたりする意識が高まった。	・他校とリモートでの学習を増やし, 多様な意見を聞き, 考えることを通して, 思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ・根拠となる考えを文章にしたり, 発表したりする機会を増やしていく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの教科の授業にも落ち着いて取り組むことができている。 ●自主的に目標を立てたり, 計画を立てたりして学習を進めることに課題がある。	・各教科の学習に意欲的に取り組むことができる。 ・家庭学習の習慣を身に付けることができる。 ・自ら課題を見つけ, 解決するために計画を立てて実践することができる。	・単元における学習目標を明確にし, 教材や板書を工夫することで, わかる授業を展開し, 「わかった」「できた」を実感させる。 ・家庭学習で取り組む課題を精選し, 家庭と連携して行うようにする。 ・自ら立てた計画表を振り返らせ, 計画を見直し改善できるようにする。		・授業で積極的に質問する場面が増え, 理解を深めようとするようになった。 ・家庭学習の習慣は定着し, 与えられた課題の提出はできた。 ・自ら立てた計画表に沿って, 継続的に学習することができた。	・学ぶ楽しさを感じさせ, 学習に主体的に取り組む態度を育む。 ・自ら立てた計画を振り返らせるとともに, 目標をもたせ, その達成に向けて計画を改善させていく。 ・家庭でのタブレット活用を定着させ, 自ら課題を選択させ, 意欲的に学習に取り組む態度を育てる。

令和3年度 学力向上ロードマップ

